

令和5年 12月 13日 身延小学校 学校だより 第11号



# 身延 ー ム 子

身延町立身延小学校  
Tel 0556-62-0066  
Fax 0556-62-0368

学校の理念：「すべての子どもに笑顔があふれる学校をつくる」

## 2学期そして今年もあとわずか

あと1週間あまりで2学期が終わろうとしています。学校では今、2学期そして今年のしめくくりをしています。

これまで子どもたちが元気に2学期を過ごすことができたことに対して、ほっとした気持ちです。

学期の中盤から後半には感染症も落ち着きを見せ、運動会を無事に実施することができたり、6年生の修学旅行や各学年の校外学習も実施できたりしました。さらには、学校外からも講師を招いて授業をすることができるなど、子ども達の学びも深まり、学校生活も充実していたと感じます。やはり、本物を観たり聴いたり触れたりすることが教育効果をいっそう高めるのだということに改めて実感します。

今学期始めから今日まで、子どもたちが無事に学校生活を送ることができたのは、日々、子どもたちの体調管理をしてくださった保護者のみなさまのおかげです。本当に感謝でいっぱいです。

とはいえここ最近では、インフルエンザやアデノウイルス、感染性胃腸炎などの感染者が増加傾向にあります。冬休みには人流が増えることも予想され、まだまだ気を抜けない毎日が続きます。

子どもたちが楽しみにしている冬休みは、学校を離れご家庭や地域で過ごす時間が増えます。家族団欒を楽しみ、また、地域の行事などに参加しながら、子どもたちが充実した時間を過ごし、より成長した姿を1月9日(火)の始業式で見られることを楽しみにしています。



文責 校長 穂坂洋紀



## 個別懇談ありがとうございました



11月28日(火)～12月5日(火)まで行われました個別懇談では、お忙しいところ都合をつけて学校までおいでいただきありがとうございました。

日頃、なかなかまとまった時間が取れない中、おうちの方々とひざを突き合わせてお話しできたことは大変有意義なことでした。ここで話し合われたことを、今後の子どもたちのよりよい成長のために活かしていけたらと思います。ご協力ありがとうございました。

## SDGs 学習会を実施しました

11月29日(水)にSDGsに関する学習会を5年生対象に実施しました。県消費者市民社会推進協議会会長の本田さんをお招きし、「SDGsとプラスチックに関係したお話」と題してお話をうかがいました。

まず、SDGsとはどういうものかということから始まり、17の目標の中から子どもたちにわかりやすいもの

を紹介していただきました。次に、その中に出てきた地球環境への影響にかかわって、プラスチックに焦点を絞ってお話をしてくださいました。私たちの生活の身近な話題の中から、プラスチックの特徴やマイクロプラスチックが及ぼす問題点、さらには、私たちができる3R（リデュース、リユース、リサイクル）とそれに加えてもう1つのR（リニューアブル）の考え方も教えていただきました。

子どもたちは、本田さんの質問に答えながら、真剣にお話を聞いていました。

お家に帰ったときに、話をしてくれた児童もいたのではないのでしょうか。



たった一つのかげがえのない地球を守るために、また、その命は地球より重いとされる私たち一人ひとりが自分を大切にできるように、豊かで、平和な、そして、だれもが満足できる世界をつくり、それを維持していけるようにすることが大切です。SDGs達成のために、私たちだれもが、できることから少しずつはじめ、地道に続けることが大切だと感じました。

持続可能な地球の実現は、人類を含めた地球上のすべてのものの幸せにつながることを信じて、一步一步進めていきたいものです。

## 来年も心から望むこと！

学期末、来年迎えようとするときに、2学期始業式に子ども達に伝えたことを、改めて思い返します。

それは子ども達に、今学期だけでなく、これからもずっと、そして、ますます充実した生活を送ってもらいたいという願いからです。【以下は、2学期始業式のあいさつです】

みなさんに「充実」という言葉を紹介します。「充実」とは「内容が豊かで満ち足りていること、満足できること」です。だれだって、満足できることを望んでいますよね。それでは、「充実」するために重要なことは何でしょうか。それは、何事も「自分で」「決める」ことです。「人がやるから、私も（僕も）」とか、「ただ楽しいからもっと」というような、人や状況に「流される」ものではありません。ゲームの時間も、勉強する時間も、お手伝いも、感染症や熱中症対策も、やりたくても、やりたくなくても、やったほうがよいことも、やらなければならないことも、「自分で」「決める」のです。

ただ「自分で」「決める」といっても、その中で、「考え、判断する」ことが大切になってきます。「自分で」きちんと「考え、判断」し、その上で、自ら「決める」。それを「行動」に移すことができれば、自分自身が満足できる「充実感」を得られることになるでしょう。

逆に言えば、「自分で」「考え判断して」「決めて」「行動に移す」というように、いくつもの条件をクリアしなければならないので、「充実」することはある意味でとても難しいことです。

人には気持ちの弱い面があるので、特に「行動」に移すときに、そこには、やり遂げようとする「覚悟」（困難なことを予想して、それを受けとめる心構えをすること）が必要になってきます。

みなさんは、今言ってきたようなことを、きっと1学期間、学校生活の中でやってきています。

2学期も、健康に気をつけ充実した時間を過ごしてほしいと思います。



「人間としての基本は、自分で考え、自分で行動し、自分で責任を取ることである」

マーガレット・サッチャー イギリス元首相

来年も、自ら考え・判断し、自分で決めて、行動し、

今年よりも、もっともっと充実した時間を過ごせることを願い、また、期待しています！